

第2次札幌新まちづくり計画

【概要版】

2007-2010
平成19～22年度



目 次

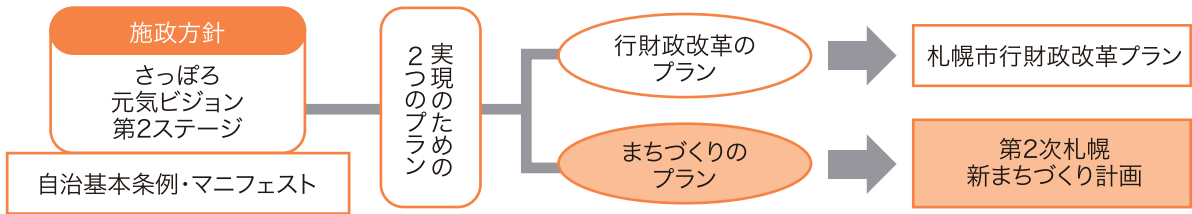
1	第2次札幌新まちづくり計画の概要	2
2	成果指標と計画体系別主要事業一覧	4
3	施策別主要事業概要	14
4	各区役所の計画事業	37
5	計画の事業数と事業費	39
6	公共施設における保全、長寿命化などの取り組み	40
7	主な施設、サービス水準	42
8	市民意見等による第2次札幌新まちづくり計画（案）の変更	44
9	パブリックコメントの実施結果	44

1 第2次札幌新まちづくり計画の概要

計画策定の趣旨

- 施政方針「さっぽろ元気ビジョン 第2ステージ」に掲げるまちづくりの基本的な方向性を実行に移すためのまちづくりのプランとして策定するもの。
- 限られた財源を効果的に活用することを念頭に、長期総合計画の基本的方向性や、前計画（札幌新まちづくり計画）におけるまちづくりの方向性を踏まえ、特に優先的・重点的に実施する施策・事業を定めるもの。

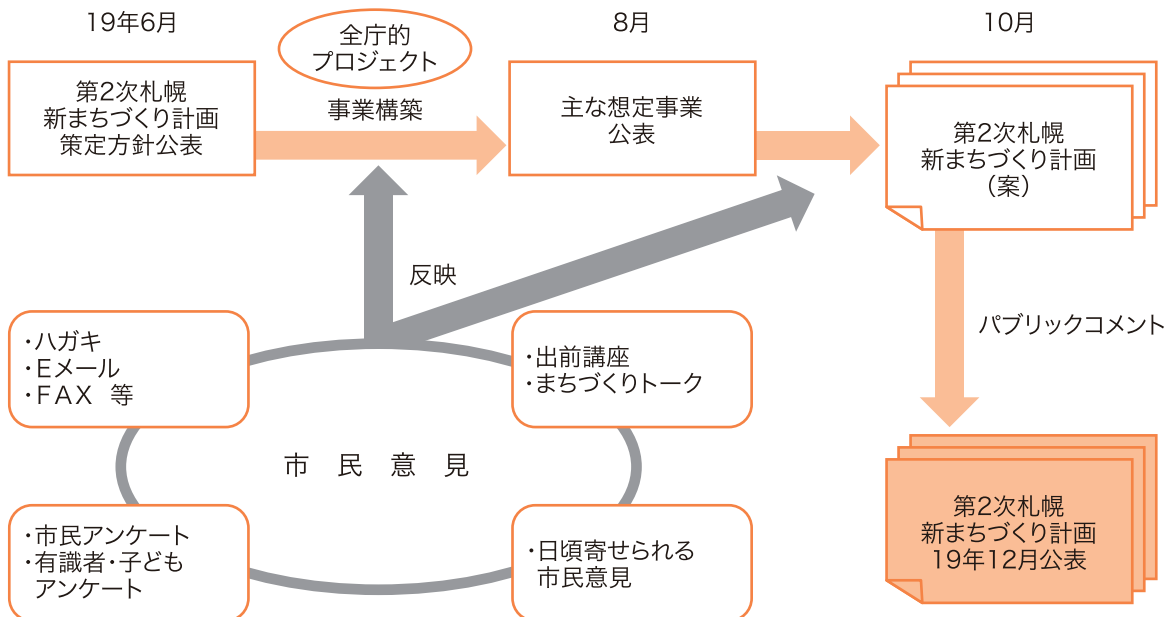
●イメージ図



計画期間

- 平成19年度から22年度の4年間。

計画策定経過



計画の特徴

■計画対象事業の重点化

施政方針に掲げるまちづくりの基本的な方向性に基づき、5つの政策目標と15の重点課題を設定。目標と課題を明確にし、計画事業を重点化。また、重点化にあたっては、定例的事業や施設保全、維持補修（緊急に対応が必要な耐震改修などを除く）などの事業を計画対象外として整理。

■市民への情報提供と意向把握の充実

計画策定の各段階（策定方針公表、主要想定事業の公表など）において、その内容を公表し、意見募集を行ったほか、アンケートの実施、まちづくりに関するシンポジウムの開催などを通して、市民意向を把握し、可能な限り計画に反映。

■成果の重視と指標の設定

成果指標として、重点課題ごとに「市民意識・行動指標」、「社会成果指標」を合計66項目設定し、その達成に資する事業を積極的に計画化。

また、全計画事業に「達成目標」を新たに設定し、各事業の目標をわかりやすく表示。

■前計画の方向性を踏襲

前計画策定時の市民会議における議論を踏まえ、特に提言を受けた5項目の「まちづくりの大切な視点」を継承し、計画全体を推進する理念である「計画推進の方針」に位置づけ。

- 市民自治の推進
- さっぽろブランドの創出・継承
- 持続発展が可能な都市の実現
- 安心・安全なまちづくり
- 市民活力の向上

■全庁的プロジェクトの設置

組織横断的な取り組みを促進するために、政策目標ごとに副市長をトップとする全庁的プロジェクトを設置。成果指標や施策の検討、計画事業の調整などを行い、計画策定後は進行管理を実施することにより、組織間の情報共有、連携を強化。

計画事業費

○総事業費 4,516億円（うち、一般財源401億円）

2 成果指標と計画体系別主要事業一覧

政策目標 1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街

重点課題

1 子どもを生き育てやすい環境づくり

【14頁参照】

成果指標

- 1 子育てしやすいまちだと思える人の割合
43.3% [H18] ⇒ 60% [H22]
- 2 札幌圏で育児休業を取得した人数
5,004人 [H18] ⇒ 7,000人 [H22]
- 3 保育所待機児童数
212人 [H19] ⇒ 0人 [H23]
- 4 新生児訪問指導を受ける人の割合
62.2% [H17] ⇒ 100% [H22]
- 5 子育てサロンが開催されている地域の割合
(小学校区単位で見た場合)
86% [H18] ⇒ 100% [H21]

施策・事業

1 子育てと仕事などの両立支援

- ワーク・ライフ・バランス取組企業応援事業
- 保育所待機児童対策事業
- 多様な保育サービスの充実
- ミニ児童会館の新設【再掲】

2 子どもと母親の健康支援

- 妊婦一般健康診査の公費負担拡充
- 乳幼児医療費助成制度の拡充
- 生後4か月までの全戸訪問

3 地域での子育て支援の充実

- 多様な子育てサロン事業の充実
- 出前子育て相談事業
- 区保育・子育て支援センター整備事業
- (仮称)市立認定こども園整備事業
- 企業・団体と連携した子育て支援事業
- 特定優良賃貸住宅を活用した子育て支援事業

重点課題

2 未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実

【15頁参照】

成果指標

- 6 家庭などにおいて、自分の興味のあることについて調べたり、勉強したりしている児童生徒の割合
－ [H18] ⇒ 100% [H22]
- 7 地域への授業公開校の割合（小・中学校）
75.1% [H18] ⇒ 100% [H22]
- 8 小・中学校における地域人材の活用人数
10,259人 [H18] ⇒ 12,000人 [H22]
- 9 不登校児童・生徒の出現率
1.09% [H18] ⇒ 1.0%未満 [H22]
- 10 児童会館で行われている事業の参加者数
41万人 [H18] ⇒ 47万人 [H22]

施策・事業

1 学びの意欲を育てる学校教育の推進

- 生きいきと学ぶ力の育成事業
- 国際理解教育推進事業（外国語指導助手配置）
- 学校図書館地域開放事業
- 札幌市立大学大学院設置支援事業
- （仮称）市立認定こども園整備事業【再掲】
- 札幌市奨学金の拡充
- 新しいタイプの定時制高校「市立札幌大通高等学校」の設置

2 健やかな育ちの推進

- 児童家庭支援センター体制整備
- いじめ・不登校対策の推進事業
- 特別支援学級の整備
- 特別支援教育の推進体制の充実
- 豊明高等養護学校における教育の充実
- 地域小規模児童養護施設の整備

3 自らが考え思いやりと豊かな心をはぐくむ環境づくり

- こどものまち「ミニさっぽろ」事業
- 子どもの美術体験事業
- 子どもの映像制作体験事業
- 佐藤忠良関連施設整備事業
- 児童会館における中・高生の利用促進
- ミニ児童会館の新設
- 子どもの権利の推進

政策目標 2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街

重点課題

1 市民の主体的な地域づくりの支援

【18頁参照】

成果指標

- 11 町内会、NPO、ボランティアなど市民まちづくり活動に参加経験のある人の割合
41.1% [H18] ⇒ 60% [H22]
- 12 コミュニティ組織（町内会など）の活動が盛んに行われていると思う市民の割合
57.8% [H18] ⇒ 70% [H22]
- 13 NPO 認証法人数（札幌市に主たる事務所を置くもの）
569 団体 [H18] ⇒ 900 団体 [H22]
- 14 地域と創る冬みち事業に参加した町内会数
186 町内会 [H18] ⇒ 560 町内会 [H22]

2 札幌の経済を支える企業・人の支援

【19頁参照】

成果指標

- 15 中小企業向け融資制度の新規融資件数及び融資額
8,579 件 1,095 億円 [H18] ⇒ 8,900 件 1,109 億円 [H22]
- 16 経営や起業に関する相談・アドバイス件数
4,034 件 [H18] ⇒ 8,000 件 [H22]
- 17 展示会・商談会への参加企業数
166 企業 [H18] ⇒ 300 企業 [H22]
- 18 雇用創出事業及びマッチングによる就職者数
4,441 人 [H18] ⇒ 6,000 人 [H22]

施策・事業

1 市民自治の実践による地域づくりの推進

- まちづくりセンター地域自主運営化推進
- 地域特性に応じた土地利用の再構築事業【再掲】
- 地域と創る冬みち事業

2 地域の連携によるまちづくりの推進

- 区民協議会設置・運営事業
- 大学と地域の連携による都市再生の推進
- 大学や学生との連携による地域づくりの促進

3 市民の主体的な活動推進のための環境づくり

- 市民まちづくり活動促進総合事業
- 地域の縁結び事業
- 子どものまちづくりへの参加促進事業
- さっぽろ元気 NPO サポートローン
- 札幌市アイヌ施策推進計画策定【再掲】
- さっぽろ市民カレッジによる人材育成の推進

1 資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実

- 元気がんばれ資金
- 中小企業ネットワーク構築・推進事業
- アジア圏等経済交流促進事業

2 安心して働ける環境づくりの推進

- 就業者総合サポート事業
- 若年層に対する就業支援事業

3 創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援

- 団塊の世代及び女性の起業支援事業
- ものづくり産業活性化支援事業

重点課題

3 札幌らしい新産業の育成と企業の誘致

【20頁参照】

成果指標

- 19 スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数
85件 [H18] ⇒ 170件 [H22]
- 20 札幌スタイル認証製品数
56件 [H18] ⇒ 100件 [H22]
- 21 取引可能な映像作品等の集積本数（累計）
1,500本 [H18] ⇒ 10,000本 [H22]
- 22 大学の共同研究・受託研究実績
821件 [H18] ⇒ 1,000件 [H22]
- 23 IT・コンテンツ・バイオ企業及びコールセンター・ニュービジネスの誘致数
39件 [H18] ⇒ 75件 [H22]

施策・事業

1 札幌の都市イメージを活用した産業の振興

- 都心部における北海道の魅力発信事業
- 「食のまち」札幌の推進
- 札幌スタイル推進事業

2 IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大

- 首都圏ビジネスチャンス拡大支援事業
- 企業連携構築事業
- 「創造都市さっぽろ (sapporo ideas city)」の活用と推進
- さっぽろフィルムコミッション強化事業
- 高度情報通信人材育成・活用事業
- 新産業育成推進事業

3 札幌の優位性を活かした企業の誘致

- 企業誘致促進事業
- 雇用創出型ニュービジネス立地促進事業

政策目標 3 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街

重点課題

1 高齢者の地域生活支援の充実

【22頁参照】

成果指標

- 24 週2回以上外出する高齢者の割合
78.2% [H18] ⇒ 85% [H22]
- 25 町内会やボランティア活動、老人クラブ活動
をしている高齢者の割合
9.5% [H18] ⇒ 20% [H22]
- 26 シニアサロンに参加している人数（箇所数）
9,021人 [H18] ⇒ 48,000人 [H22]
(6カ所) (20カ所)
- 27 認知症サポーター養成数（累計）
1,862人 [H18] ⇒ 9,000人 [H22]
- 28 一般高齢者の介護予防事業への参加者数
41,228人 [H18] ⇒ 58,500人 [H22]
- 29 転倒・骨折予防事業への参加者数
1,702人 [H18] ⇒ 2,400人 [H22]

施策・事業

1 社会参加の機会の拡充と 社会貢献への支援

- 福祉除雪事業
- はつらつシニアサポート事業（高齢者地域貢献支援事業）
- ねんりんピック北海道・札幌2009の開催
- 敬老優待乗車証交付事業

2 高齢者の安心を支える 地域福祉力の向上

- 高齢者消費者被害防止ネットワーク事業
- 高齢者、障がい者の生活あんしん支援事業
- 認知症サポーター養成事業
- 高齢者が安心して暮らせるまちづくり推進事業

3 介護・保健福祉サービスの 充実による健やかな地域生活の支援

- 地域包括支援センター（介護・健康何でも相談センター）運営事業
- 介護予防事業の充実
- 夜間対応型訪問介護事業費補助事業
- 特別養護老人ホーム新築費補助事業

重点課題

2 障がい者の自立支援の促進

【23頁参照】

成果指標

- 30 まちのバリアフリー化が進んでいると感じる障がいのある人の割合
29.3% [H19] ⇒ 50% [H22]
- 31 まちのバリアフリー化が進んでいると感じる人の割合
- [H18] ⇒ 60% [H22]
- 32 入所施設の入所者の地域生活への移行者数 (H19～22累計)
- [H18] ⇒ 320人 [H22]
- 33 入院中の精神障がい者の地域生活への移行者数 (H19～22累計)
- [H18] ⇒ 264人 [H22]
- 34 福祉施設から一般就労への移行者数
22人 [H17] ⇒ 87人 [H22]

施策・事業

1 共生に根ざした健やかな地域生活の支援

- 高齢者、障がい者の生活あんしん支援事業【再掲】
- 障がい者グループホーム等の拡充
- 身近な地域における総合的な相談支援体制の拡充
- 障がい児（者）に対する専門的な療育支援体制の拡充

2 協働による障がいのある人への就労支援

- 障がい者雇用マッチング試行事業～「元気はっけん（派遣）」事業～
- 障がい者協働事業の拡充
- 「元気ショップ」の拡充
- 障がい者地域活動支援センター（就労者支援型）の創設

3 障がいのある人にもやさしいまちのバリアフリー化

- 交通バリアフリー推進事業
- 福祉のまちづくり環境整備事業
- ユニバーサルデザインの公園づくり事業
- 地下鉄駅施設のバリアフリー化の推進

政策目標 4 安全・安心で、人と環境にやさしい街

重点課題

1 水とみどりの保全・育成と創出

【25頁参照】

成果指標

- 35 身近なみどりの満足度
- [H18] ⇒ 50% [H22]
- 36 地域の緑化活動への参加意識
- [H18] ⇒ 50% [H22]
- 37 河川の水環境目標値（環境基準）の達成率
100% [H18] ⇒ 100% [H22]
- 38 みどりに関わるボランティア登録団体数
50団体 [H18] ⇒ 100団体 [H22]

2 地球環境問題への対応と循環型社会の構築

【26頁参照】

成果指標

- 39 市民の省エネ・省資源行動指標（省エネ・省資源を实践したことによるCO₂削減量）
- [H18] ⇒ 10万t [H22]
- 40 市内における新エネルギー・省エネルギー機器導入によるCO₂削減量
13,000t [H18] ⇒ 55,000t [H22]
- 41 廃棄ごみ量（平成16年度対比）
6%減量 [H18] ⇒ 20%減量 [H22]
- 42 環境に配慮している事業者数
776件 [H18] ⇒ 2,000件 [H22]
（EMS構築数のみ）

施策・事業

1 みどりの保全・育成

- みどり資源の保全推進事業

2 みどりの創出

- 木立ちを感じる街づくり事業
- さっぽろふるさとの森づくり事業
- 北緯43°花香る北の街づくり事業
- 創成川通親水緑地整備事業

3 水辺の保全・創出

- 合流式下水道の改善事業
- 多自然川づくりの推進

4 水とみどりを楽しむ心の醸成

- みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業
- 国際園芸博覧会構想の検討

1 環境行動を实践する人と街づくり

- 「環境首都・札幌」宣言事業
- CO₂削減普及推進事業（エコライフ定着関係事業）
- 環境教育の推進
- 北海道の野生動物復元事業
- 円山動物園リニューアル事業

2 省エネルギー、新エネルギーの普及促進

- 建築物環境配慮事業
- 都市再生プロジェクトエネルギーネットワーク構築事業費補助
- 太陽光発電等設置モデル事業
- メガワットソーラー共同利用モデル検討事業
- 札幌・エネルギーecoプロジェクト

3 みんなで進めるごみ減量、リサイクル

- 札幌市一般廃棄物処理基本計画の改定
- 家庭用廃食油資源化促進事業
- ごみ減量アクションプログラム支援事業
- 定山溪地区生ごみ堆肥化推進事業

重点課題

3 日常の身近な暮らしの安心の確保

【27頁参照】

成果指標

- 43 日常生活において、身近な犯罪に対する不安感を抱いている市民の割合
72.9% [H18] ⇒ 60% [H22]
- 44 人口1万人当たりの火災発生件数（出火率）
4.2件 [H18] ⇒ 4.0件 [H22]
- 45 地域防犯活動に参加している人の割合
12.9% [H18] ⇒ 17% [H22]
- 46 救命講習の受講人員
19万人 [H18] ⇒ 29万人 [H22]

施策・事業

1 地域での防火・防犯対策

- 開かれた消防活動の推進
- 犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業
- 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

2 日常の暮らしの安心

- 民間建築物吹付けアスベスト対策事業
- 東西線可動式ホーム柵設置事業
- 救急隊増強整備

4 災害に強い安全なまちの整備

【28頁参照】

成果指標

- 47 自主防災組織の結成率
86.6% [H18] ⇒ 90% [H22]
- 48 簡易型災害図上訓練（DIG）に参加した人数
1,063人 [H18] ⇒ 2,500人 [H22]
- 49 第1次緊急輸送道路における橋りょうの耐震化率
68.8% [H18] ⇒ 100% [H22]
- 50 札幌市内の住宅の耐震化率
82.8% [H18] ⇒ 85.5% [H22]

1 住民等との協働による災害対策

- 自主防災活動の推進
- 簡易型災害図上訓練（DIG）への支援
- 災害時要援護者避難支援対策

2 地域防災力の強化

- 地震等防災対策の充実と避難体制の強化
- 防災行政無線拡充整備
- 防災情報伝達モデル等推進事業
- 「豊平川札幌地区河川防災ステーション」整備事業

3 公共施設等の耐震機能の強化

- 区役所施設等耐震補強事業
- 学校施設耐震補強事業
- 学校改築事業
- 中島体育センター耐震補強事業
- 消防施設耐震補強事業
- 災害に強い道づくり事業（橋りょうの耐震化）
- 札幌市災害時基幹病院へ向かう配水管の耐震化
- 民間建築物耐震化促進事業

政策目標 5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街

重点課題

1 札幌の特色を活かした文化芸術の振興

【31頁参照】

成果指標

- 51 主要文化芸術施設（芸術の森・札幌コンサートホール・教育文化会館など）の利用者数
150万人 [H18] ⇒ 180万人 [H22]
- 52 市内主要イベント（PMF、札幌交響楽団公演、サッポロ・シティ・ジャズ、アートステージ）の観客者数
52万人 [H18] ⇒ 65万人 [H22]
- 53 主要文化財施設（時計台、豊平館、清華亭など）の利用者数
28万人 [H18] ⇒ 30万人 [H22]
- 54 文化芸術に関するボランティア数（サッポロ・シティ・ジャズ、キタラ、PMFなど）
159人 [H18] ⇒ 500人 [H22]

2 スポーツを楽しむ環境の充実と健康づくりの推進

【32頁参照】

成果指標

- 55 週に1回以上スポーツ（運動）を実施する人の割合（成人）
30.5% [H18] ⇒ 50% [H22]
- 56 直接スポーツ観戦をする人の割合
46.8% [H18] ⇒ 60% [H22]
- 57 自分の健康状態をふつう以上と感じる人の割合（成人）
77.8% [H18] ⇒ 85% [H22]
- 58 健康づくり応援企業・店舗数
1,227件 [H18] ⇒ 2,000件 [H22]

施策・事業

1 多様な文化芸術に親しみ、交流・発信する環境づくり

- サッポロ・シティ・ジャズ
- パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助
- 創成川アートワーク事業
- （仮称）SAPPOROアート&コミュニティセンター整備事業
- 厚生年金会館存続の検討
- 芸術文化情報発信事業

2 市民が自ら作り上げる文化活動の振興

- 文化活動練習会場学校開放事業
- 佐藤忠良関連施設整備事業【再掲】
- 子どもの美術体験事業【再掲】
- 子どもの映像制作体験事業【再掲】

3 文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承

- 都市景観重要建築物等の保全事業【再掲】
- 文化財施設維持保存事業
- 博物館活動センター展示室整備事業
- 札幌市アイヌ施策推進計画策定

1 スポーツを楽しむ環境づくり

- 中央体育館改築事業
- 子ども体力向上事業
- パークゴルフのできる公園整備事業
- 厚別清掃工場跡地パークゴルフ場等整備事業

2 地域でのスポーツと健康づくりの推進

- 地域スポーツクラブ支援事業
- 「健康さっぽろ21」推進事業
- 市民健康づくりサポート事業

3 ウィンタースポーツの活性化

- ウィンタースポーツ振興事業
- ウィンタースポーツミュージアム体験装置・展示品リニューアル

重点課題

3 将来を見据えた魅力ある都市の整備

【33頁参照】

成果指標

- 59 札幌の都心に「にぎわい」があると感じる人の割合
64.7% [H18] ⇒ 75% [H22]
- 60 住んでいる地域の住環境（街並み）に満足している人の割合
53.4% [H18] ⇒ 65% [H22]
- 61 公共交通に対する満足度
42.3% [H18] ⇒ 50% [H22]
- 62 公共交通の利用者数
109万人 [H18] ⇒ 110万人 [H22]

4 新たな集客交流資源の創出と魅力の発信

【35頁参照】

成果指標

- 63 観光地としての総合満足度
84.7% [H18] ⇒ 90% [H22]
- 64 年間来客数
1,410万人 [H18] ⇒ 1,500万人 [H22]
- 65 外国人延べ宿泊者数
559,272人 [H18] ⇒ 70万人 [H22]
- 66 札幌市内での総観光消費額
4,776億円 [H16] ⇒ 5,500億円 [H21]

施策・事業

1 都心のまちづくり

- 創世交流拠点整備事業（創世1.1.1区再開発事業）
- （仮称）市民交流複合施設整備事業
- 札幌駅交流拠点再整備構想策定事業
- 札幌駅前通地下歩行空間整備事業
- 札幌駅前通地下歩行空間活用推進検討
- 創成川通アンダーパス連続化事業
- 創成川通親水緑地整備事業【再掲】

2 快適で魅力的な地域への再構築

- 地域特性に応じた土地利用の再構築事業
- 都市景観重要建築物等の保全事業
- 自転車利用適正化対策事業
- 民間再開発による地域まちづくりへの支援事業

3 公共交通機関の利便性向上

- 路面電車活用方針検討調査
- 交通バリアフリー推進事業【再掲】
- 交通結節点改善事業（JR白石駅周辺地区）
- 地下鉄ICカードシステムの導入
- 交通ICカードの導入と活用

1 観光魅力づくりの推進

- さっぽろ雪まつり魅力アップ事業
- 藻岩山魅力アップ事業
- 新たな秋のイベント事業
- 大通公園スケーティング・スクエア事業
- 北緯43° 花香る北の街づくり事業【再掲】

2 観光客及びコンベンションの受入強化と誘致促進

- 観光都市さっぽろ推進事業
- 首都圏シティPR事業
- ターゲット別国内観光プロモーション事業
- 国際観光誘致事業
- 国際園芸博覧会構想の検討【再掲】

3 道内各市町村と連携した魅力の発信

- 都心部における北海道の魅力発信事業【再掲】
- 新たな秋のイベント事業【再掲】
- （仮称）札幌広域ドライブルートマップ作成事業

3 施策別主要事業概要

政策目標 1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
重点課題 1 子どもを生き育てやすい環境づくり	
施策 1 子育てと仕事などの両立支援	
ワーク・ライフ・バランス取組企業応援事業 <small>子) 子ども育成部 [88百万円]</small>	ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を応援するため、認証制度を創設し、助成金や入札優遇制度を実施 ○認証取得企業数 H18：－ ⇒ H22：250社
保育所待機児童対策事業 <small>子) 子育て支援部 [1,375百万円]</small>	民間保育所の新設・増改築などにより、保育所の入所定員を拡充 ○保育所定員数 H18 (H19.4.1)：16,730人 ⇒ H22 (H23.4.1)：17,750人
多様な保育サービスの充実 <small>子) 子育て支援部 [604百万円]</small>	延長保育事業、一時保育事業、休日保育事業、乳幼児健康支援サービス事業の実施施設数を拡充 ○延長保育実施施設数 H18：146カ所 ⇒ H21：172カ所 ○一時保育実施施設数 H18：63カ所 ⇒ H21：83カ所 ○休日保育実施施設数 H18：1カ所 ⇒ H22：3カ所 ○乳幼児健康支援サービス実施施設数 H18：4カ所 ⇒ H19：5カ所
ミニ児童会館の新設【再掲】 <small>子) 子ども育成部 [645百万円]</small>	子どもの放課後などの居場所づくりを進めるため、ミニ児童会館を整備 ○ミニ児童会館数 H18：40館 ⇒ H22：70館
施策 2 子どもと母親の健康支援	
妊婦一般健康診査の公費負担拡充 <small>保) 健康衛生部 [561百万円]</small>	安全な出産と健康な子どもの出生のために実施している妊婦一般健康診査の公費負担を拡充 ○妊婦一般健康診査公費負担の利用回数 H18：1回 ⇒ H19：5回
乳幼児医療費助成制度の拡充 <small>保) 健康衛生部 [975百万円]</small>	乳幼児医療費助成制度について、小学校入学前の子どもの医療費を原則無料化 ○小学校就学前までの子どもの医療費を原則無料化 H18：4歳以上の課税世帯の通院医療費1割負担 ⇒ H20：就学前までの子どもの医療費を全て原則無料化
生後4か月までの全戸訪問 <small>保) 健康衛生部 [95百万円]</small>	正しい知識の普及、育児不安の軽減を図ることなどを目的に、妊産婦及び全出生児を対象に訪問指導を実施 ○新生児訪問実施率 H17：62.2% ⇒ H22：100%

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
施策3 地域での子育て支援の充実	
多様な子育てサロン事業の充実 子) 子育て支援部 [18百万円]	地域主体の子育てサロン設置への支援や市役所庁舎、商業施設などの空きスペースを活用した子育てサロンを開設 ○子育てサロンが開催されている地域の割合（小学校区） H18：86% ⇒ H21：100%
出前子育て相談事業 子) 子育て支援部 [2百万円]	育児不安を抱え、家庭訪問を希望する子育て家庭に対して、保育士が自宅に直接出向き、相談・アドバイスを実施 ○出前相談実施区数 H18：－ ⇒ H20：10区
区保育・子育て支援センター整備事業 子) 子育て支援部 [29百万円]	従来の保育機能と子育て支援機能などを併せ持つ、区保育・子育て支援センターの整備を推進 ○区保育・子育て支援センター設置数 H18：3カ所 ⇒ H22：6カ所
（仮称）市立認定こども園整備事業 子) 子育て支援部 教) 学校教育部 [533百万円]	幼稚園と区保育・子育て支援センターを併設し、教育・保育の一体的な提供と子育て支援を行う、（仮称）市立認定こども園を整備 ○（仮称）市立認定こども園の開園 H18：－ ⇒ H21：開園
企業・団体と連携した子育て支援事業 子) 子育て支援部 [－]	企業・子育て団体・専門家などとの協力・連携により、様々な子育て関連事業を実施 ○企業との連携事業実施回数 H18：－ ⇒ H22：年5回 ○絵本寄贈数（累計） H18：－ ⇒ H22：1,000冊
特定優良賃貸住宅を活用した子育て支援事業 都) 市街地整備部 [－]	子育て世帯に対する経済的負担を軽減するため、家賃補助を拡大し、良質な賃貸住宅を提供 ○子育て世帯の入居戸数 H18：111世帯 ⇒ H22：221世帯
重点課題2 未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実	
施策1 学びの意欲を育てる学校教育の推進	
生きいきと学ぶ力の育成事業 教) 学校教育部 [－]	子どもたちの学ぶ力を育成することを目的とした実践研究の実施や成長段階に応じた体験活動の充実 ○中学校における職場体験の実施校率 H18：51% ⇒ H22：100%
国際理解教育推進事業（外国語指導助手配置） 教) 学校教育部 [126百万円]	生徒の外国語コミュニケーション能力育成と教職員の能力向上を目的として外国語指導助手（ALT）を配置 ○ALT配置人数 H18：43人 ⇒ H22：58人
学校図書館地域開放事業 教) 生涯学習部 [18百万円]	地域の教育力の向上と子どもの健全育成に役立てるため、学校図書館を地域に開放 ○学校図書館地域開放校数（小・中学校） H18：87校 ⇒ H22：99校

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
札幌市立大学大学院 設置支援事業 市) 企画部 [-]	高度な専門職業人の養成や産業振興、地域貢献を目指す札幌市立大学のデザイン系と看護系の大学院設置を支援 ○大学院設置 H18：－ ⇒ H22：設置 ○民間企業等からの受託研究数の増 H18：－ ⇒ H22：15件
(仮称)市立認定こども園整備事業【再掲】 子) 子育て支援部 教) 学校教育部 [533百万円]	幼稚園と区保育・子育て支援センターを併設し、教育・保育の一体的な提供と子育て支援を行う、(仮称)市立認定こども園を整備 ○(仮称)市立認定こども園の開園 H18：－ ⇒ H21：開園
札幌市奨学金の拡充 教) 学校教育部 [77百万円]	経済的理由で修学困難な高校生・大学生への奨学金支給の対象人数の拡大と「定時制・障がい」枠の新設 ○奨学金支給対象数 H18：456人 ⇒ H22：1,000人
新しいタイプの定時制 高校「市立札幌大通高 等学校」の設置 教) 学校教育部 [2,670百万円]	市立高等学校4校の定時制課程を再編し、午前・午後・夜間の三部制や単位制を取り入れた定時制高校を開設 ○市立札幌大通高等学校の開設 H18：－ ⇒ H20：開設
施策2 健やかな育ちの推進	
児童家庭支援センター 体制整備 子) 児童福祉総合センター [57百万円]	児童虐待・非行・いじめ・子育て不安などの児童問題に、24時間対応の相談、指導を行う児童家庭支援センターを拡充 ○児童家庭支援センター設置数 H18：2カ所 ⇒ H21：4カ所
いじめ・不登校対策の 推進事業 教) 学校教育部 [352百万円]	子どもの心の悩みに対応するため、スクールカウンセラーを学校に配置するとともに民間施設との連携を強化 ○小学校の相談時間数 H18：－ ⇒ H20：月4時間 ○中学校の相談時間数 H18：週6時間 ⇒ H20：週8時間
特別支援学級の整備 教) 学校教育部 [124百万円]	特別支援教育の対象となる子どもたちが地域の学校で学べるように、特別支援学級などを整備拡充 ○特別支援学級設置率 H18：43% ⇒ H22：55%
特別支援教育の 推進体制の充実 教) 学校教育部 [1,119百万円]	障がいのある子どもたちが学校で適切な支援を受けることができるように、特別支援教育の推進体制を充実 ○特別支援教育巡回相談員配置数 H18：3人 ⇒ H19：10人 ○特別支援教育支援員活用体制の構築 H18：－ ⇒ H20：構築
豊明高等養護学校に おける教育の充実 教) 学校教育部 [271百万円]	豊明高等養護学校の間口拡大と教育内容の見直しによる職業教育の充実 ○豊明高等養護学校の間口数 H18：18間口 ⇒ H22：21間口

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
地域小規模児童養護施設の整備 子) 児童福祉総合センター [21百万円]	虐待を受けた子どもたちに対し、より家庭的な生活環境のなかで適切な心理ケアを行う、地域小規模児童養護施設を整備 ○地域小規模児童養護施設設置数 H18：－ ⇒ H22：1カ所
施策3 自らが考え思いやりと豊かな心をはぐくむ環境づくり	
こどものまち「ミニさっぽろ」事業 子) 子ども育成部 [18百万円]	小学生が「ミニさっぽろ市」の市民となり、働き、給料を得て、買い物や食事などができる社会生活体験事業を実施 ○参加人数 H18：3,440人 ⇒ H22：5,000人
子どもの美術体験事業 観) 文化部 [4百万円]	子どもたちに美術を体験してもらうために、小学校へ芸術家を派遣したり、小学生を美術館に招待する体験事業を実施 ○参加児童数（累計） H18：－ ⇒ H22：3,200人
子どもの映像制作体験事業 観) 文化部 [5百万円]	中学生を対象に、芸術の森などを撮影舞台として、プロの指導のもと映像制作のワークショップを実施 ○参加者数（累計） H18：－ ⇒ H22：50人
佐藤忠良関連施設整備事業 観) 文化部 [358百万円]	芸術の森野外美術館内に、札幌市ゆかりの彫刻家である佐藤忠良の作品を収蔵・展示する施設を建設 ○施設開設 H18：－ ⇒ H20：開設
児童会館における中・高校生の利用促進 子) 子ども育成部 [183百万円]	中・高校生の児童会館利用促進のため、開館時間を21時まで延長する日を設定 ○夜間利用実施館数 H18：20館 ⇒ H22：104館
ミニ児童会館の新設 子) 子ども育成部 [645百万円]	子どもの放課後などの居場所づくりを進めるため、ミニ児童会館を整備 ○ミニ児童会館数 H18：40館 ⇒ H22：70館
子どもの権利の推進 子) 子ども育成部 [134百万円]	子どもの権利条例を制定するとともに、権利侵害からの救済制度を創設 ○子どもの権利条例の制定 H18：－ ⇒ H20：制定

政策目標 2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
重点課題 1 市民の主体的な地域づくりの支援	
施策 1 市民自治の実践による地域づくりの推進	
まちづくりセンター 地域自主運営化推進 市) 地域振興部 [-]	地域課題の解決方法をまとめた「地域活動ビジョン」の策定などを支援し、まちづくりセンターの運営を地域に委託 ○地域自主運営化したまちづくりセンター数 H18：－ ⇒ H22：10カ所
地域特性に応じた 土地利用の再構築事業 【再掲】 市) 都市計画部 [50百万円]	土地利用ルールのあり方や土地利用転換など、時代の変化に対応した再構築の検討や地域のまちなみルールの創設 ○地区計画の決定、変更数 H18：－ ⇒ H22：3地区 ○地域まちなみづくり推進制度の策定 H18：検討 ⇒ H21：策定
地域と創る冬みち事業 建) 管理部 [453百万円]	地域住民、除雪事業者、行政の三者による話し合いによって、地域の実情に応じた除排雪を実施 ○参加町内会数 H18：186町内会 ⇒ H22：560町内会
施策 2 地域の連携によるまちづくりの推進	
区民協議会設置・運営 事業 市) 地域振興部 [32百万円]	区民意見の調整や合意形成の場である「区民協議会」を、市民意見などを踏まえて全区に設置 ○区民協議会の設置区数 H18：3区 ⇒ H22：10区
大学と地域の連携に よる都市再生の推進 市) 企画部 [23百万円]	大学や学生の力を活かした地域課題の解決のしくみづくりとして、市と大学の意見交換や大学と地域のワークショップなどを実施 ○大学連携ネットワーク会議の設置 H18：－ ⇒ H20：設置
大学や学生との連携に よる地域づくりの促進 市) 地域振興部 他 [42百万円]	学生が地域課題解決のための取り組みを提案する場などの設定や、区における大学や学生の力を活かしたまちづくり活動の推進 ○学生プレゼンテーション大会開催数（累計） H18：1回 ⇒ H22：5回
施策 3 市民の主体的な活動推進のための環境づくり	
市民まちづくり活動 促進総合事業 市) 地域振興部 [40百万円]	市民まちづくり活動促進条例の制定や条例に基づく計画の策定などを行うとともに、市民まちづくり活動を活性化するための支援を実施 ○市民まちづくり活動促進条例制定 H18：検討 ⇒ H19：制定 ○市民まちづくり活動促進基金設置 H18：検討 ⇒ H20：設置

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]		事業概要 達成目標
地域の縁結び事業 市) 地域振興部 [43百万円]	参加機会の少ない市民を対象としたまちづくりに関する講義・研修の実施や、ホームページなどでまちづくりに関する情報を発信 ○まちづくり参加入門教室の開催数 H18：－ ⇒ H21：20回（1区2回）	
子どものまちづくり への参加促進事業 市) 地域振興部 [40百万円]	子ども向けのまちづくり手引書作成や、区におけるまちづくり体験の場の設定、企画提案の募集など、子どものまちづくり体験の機会を拡充 ○子どものまちづくり体験事業の実施回数 H18：－ ⇒ H20：10回（1区1回）	
さっぽろ元気NPO サポートローン 市) 地域振興部 [35百万円]	市民活動団体（NPO）が安定した事業運営を行うため、金融機関に対し利子補給や損失補償を実施 ○融資件数（累計） H18：29件 ⇒ H22：70件	
札幌市アイヌ施策推進 計画策定【再掲】 市) 市民生活部 [10百万円]	アイヌ民族の伝統文化の保存・継承・振興などを図り、歴史・文化・自然観などへの市民理解を推進するためのアイヌ施策推進計画を策定 ○札幌市アイヌ施策推進計画の策定 H18：－ ⇒ H21：策定	
さっぽろ市民カレッジ による人材育成の推進 教) 生涯学習部 [－]	市民カレッジで学んだ成果を地域での活動に活かすしくみの構築や市民の知識や技術などを認証する手法の検討 ○講座受講者数 H18：3,520人 ⇒ H22：4,200人	
重点課題2 札幌の経済を支える企業・人の支援		
施策1 資金面や販路拡大など中小企業への支援の充実		
元気がんばれ資金 経) 産業振興部 [5,579百万円]	地域発展と雇用維持に寄与する小規模事業者などに対し、経営の安定と地域に根ざした企業活動を振興するため必要な小口資金を創設 ○新規融資額 H18：－ ⇒ H22：9億円／年 ○新規融資件数 H18：－ ⇒ H22：300件／年	
中小企業ネットワーク 構築・推進事業 経) 産業振興部 [81百万円]	より実効性のある企業支援施策を推進するため、業種別懇談会や業界団体トップ経営者による賢人会議などを開催 ○賢人会議開催回数 H18：－ ⇒ H22：3回／年	
アジア圏等経済交流 促進事業 経) 産業振興部 [145百万円]	国際競争力を高めながらアジア圏諸国との産業ネットワークを構築するため、企業の販路拡大や調達コスト削減を支援 ○商談会への延べ参加企業数 H18：156社 ⇒ H22：230社	

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
施策2 安心して働ける環境づくりの推進	
就業者総合サポート事業 経) 雇用推進部 [90百万円]	就業サポートセンターなどの利用時間延長や再就職支援の強化、仕事の悩み相談窓口の開設など安心して働ける環境を整備 ○就業サポートセンター等の利用者数 H18: 91,657人 ⇒ H22: 100,000人 ○再就職支援セミナーの受講者数 H18: 867人 ⇒ H22: 1,300人
若年層に対する就業支援事業 経) 雇用推進部 [145百万円]	若年求職者の総合的な就業支援や若手社員の職場定着を促進する事業を実施 ○受講者数 H18: 596人 ⇒ H22: 1,000人 ○就業率 H18: - ⇒ H22: 30%
施策3 創業や新たな事業にチャレンジする人や企業への支援	
団塊の世代及び女性の起業支援事業 経) 産業振興部 [15百万円]	起業セミナーの充実や個別アドバイスを行う起業塾の実施などにより、団塊の世代・女性の起業を支援 ○団塊の世代、女性に特化した起業セミナーの開催回数(累計) H18: 2回 ⇒ H22: 26回
ものづくり産業活性化支援事業 経) 産業振興部 [43百万円]	市内の中小製造業者などが行う新製品の開発、企業間ネットワークの構築や人材育成を支援 ○「新製品開発・既製品改良」補助件数(累計) H18: - ⇒ H22: 16件
重点課題3 札幌らしい新産業の育成と企業の誘致	
施策1 札幌の都市イメージを活用した産業の振興	
都心部における北海道の魅力発信事業 市) 企画部 [65百万円]	道内各市町村との連携による食や観光資源などの情報発信や特産品の販売を行う拠点を都心部に整備 ○来場者数 H18: - ⇒ H22: 10万人 ○道内各地域からの出展者数 H18: - ⇒ H22: 50件
「食のまち」札幌の推進 経) 産業振興部 [96百万円]	スイーツに関するイベントの開催や食品見本市への出展、情報発信拠点の整備を通して「札幌の食」を国内外に発信 ○スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数 H18: 85社 ⇒ H22: 170社 ○「食のまち」札幌発信拠点の整備 H18: - ⇒ H22: 整備
札幌スタイル推進事業 経) 産業振興部 [93百万円]	デザインコンペの開催や認証事業の実施などにより、デザインを活用した商品開発力の向上と販売力の強化を支援 ○認証製品数(累計) H18: 56件 ⇒ H22: 100件

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
施策2 IT・コンテンツ・バイオなどの新産業の育成・拡大	
首都圏ビジネス チャンス拡大支援事業 総) 東京事務所 [43百万円]	地元企業の首都圏での販路拡大支援のため、プレゼンテーションの場を提供するなど、東京事務所をビジネス拠点として開放 ○販路拡大支援事業への首都圏参加企業数 H18: 94社 ⇒ H22: 200社 ○ビジネスラウンジ利用者数 H18: 323人 ⇒ H22: 500人
企業連携構築事業 経) 産業振興部 [30百万円]	関東や関西でマッチングイベントを開催し、IT・バイオ分野での事業連携、技術提携や共同研究を促進 ○ビジネスマッチングの来場者数 H18: 427人 ⇒ H22: 800人
「創造都市さっぽろ (sapporo ideas city)」 の活用と推進 市) 企画部 経) 産業振興部 [80百万円]	「創造都市さっぽろ (sapporo ideas city)」の活用と推進に向けて、基本デザインの策定、展開やアイコモンズ・サミット2008の開催など ○民間創造都市推進組織の設置 H18: - ⇒ H22: 設置 ○IPビジネス研究会への参加企業数 H18: - ⇒ H22: 50社
さっぽろフィルム コミッション強化事業 経) 産業振興部 [124百万円]	ロケーション撮影への対応の充実と、ロケ誘致の拡大や市内映像クリエイターの育成を支援し、映像産業の振興を促進 ○ロケーション (延べ) 撮影日数 H18: 236日 ⇒ H22: 500日
高度情報通信 人材育成・活用事業 経) 産業振興部 [188百万円]	高度な業務を受注できる人材の育成と人材の活用により、IT産業の売上げ拡大を推進 ○この事業による市内IT企業への就業者数 H18: 72人 ⇒ H22: 100人
新産業育成推進事業 経) 産業振興部 [48百万円]	新産業の事業化を期待できる、バイオテクノロジーなどの分野において、中小企業と大学や異業種などとの連携を支援 ○補助金交付件数 (累計) H18: 2件 ⇒ H22: 10件
施策3 札幌の優位性を活かした企業の誘致	
企業誘致促進事業 経) 産業振興部 [304百万円]	IT・デジタルコンテンツ・バイオ企業を誘致するため、PR活動や新規立地企業に対する補助を実施 ○この事業による誘致企業数 (累計) H18: - ⇒ H22: 15社
雇用創出型ニュー ビジネス立地促進事業 経) 産業振興部 [870百万円]	コールセンターなどの立地促進を図るため、誘致活動、立地企業への補助のほか、既就職者への研修などを実施 ○この事業による事業所開設数 (累計) H18: 39社 ⇒ H22: 60社

政策目標 3 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
重点課題 1 高齢者の地域生活支援の充実	
施策 1 社会参加の機会の拡充と社会貢献への支援	
福祉除雪事業 保) 総務部 [-]	高齢者や障がいのある人が安心して暮らせるよう、地域住民や企業などの地域協力員が、間口除雪などのサービスを実施 ○利用世帯の満足度 H18: 90.2% ⇒ H22: 90%以上 ○地域協力員の満足度 H18: 90.8% ⇒ H22: 90%以上
はつらつシニアサポート事業 (高齢者地域貢献支援事業) 保) 保健福祉部 [132百万円]	高齢者団体が自主的に運営する生きがい活動の拠点や社会貢献に係わる先駆的な取り組みなどに対して支援を実施 ○シニアサロンモデル事業設置数(累計) H18: 6カ所 ⇒ H22: 20カ所 ○シニアチャレンジ事業実施団体(累計) H18: 8団体 ⇒ H22: 50団体
ねんりんピック北海道・札幌2009の開催 保) 保健福祉部 [326百万円]	平成21年9月に開催される「ねんりんピック(全国健康福祉祭)北海道・札幌2009」に向けた開催準備を実施 ○ねんりんピック北海道・札幌2009の開催 H18: 開催準備 ⇒ H21: 開催
敬老優待乗車証交付事業 保) 保健福祉部 [1,054百万円]	高齢者の外出を支援し、明るく豊かな老後の生活の充実を図るため、敬老優待乗車証の利用限度額を引き上げ ○敬老優待乗車証の利用限度額 H18: 5万円 ⇒ H21: 7万円
施策 2 高齢者の安心を支える地域福祉力の向上	
高齢者消費者被害防止ネットワーク事業 市) 市民生活部 [33百万円]	地域に消費生活相談員OBなどを配置し、関係機関と連携しながら、高齢者の消費者被害を防止 ○消費生活みまもり協力員の配置区数 H18: - ⇒ H20: 10区
高齢者、障がい者の生活あんしん支援事業 保) 総務部 [225百万円]	判断力が低下した方のための総合的な相談窓口を開設するとともに、市社会福祉協議会が法人として法定後見業務を開始 ○総合的な相談窓口の設置 H18: 検討 ⇒ H20: 設置 ○社会福祉協議会の法人後見事業の実施 H18: 検討 ⇒ H20: 実施
認知症サポーター養成事業 保) 保健福祉部 [-]	認知症の人とその家族を支援するため、認知症の支援者(認知症サポーター)を養成する講座を開催 ○認知症サポーター養成数(累計) H18: 1,862人 ⇒ H22: 9,000人
高齢者が安心して暮らせるまちづくり推進事業 白) 保健福祉部 [6百万円]	「要援護者」の福祉ニーズの把握による効果的な福祉支援活動の実施と地域住民を中心とした支援体制を整備 ○地域における要援護者への体制づくり H18: - ⇒ H22: 全地区での取り組み

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
施策3 介護・保健福祉サービスの充実による健やかな地域生活の支援	
地域包括支援センター (介護・健康何でも相談センター) 運営事業 保) 保健福祉部 [132百万円]	高齢者の地域生活や介護予防の支援の拠点である地域包括支援センター(介護・健康何でも相談センター)を増設 ○地域包括支援センター設置数 H18:17カ所 ⇒ H22:21カ所
介護予防事業の充実 保) 保健福祉部 [-]	高齢者の要介護状態への移行を抑制するために、「すこやか倶楽部」や「転倒・骨折予防教室」などの各種の介護予防教室を推進 ○一般高齢者の介護予防事業の開催回数 H18:2,645回 ⇒ H22:2,645回 ○特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業、筋力向上トレーニング事業及び一般高齢者の転倒骨折予防事業への参加者数 H18:1,702人 ⇒ H22:2,400人 ○特定高齢者の運動能力向上トレーニング事業、筋力向上トレーニング事業及び一般高齢者の転倒骨折予防事業の開催回数 H18:895回 ⇒ H22:1,137回
夜間対応型訪問介護事業費補助事業 保) 保健福祉部 [90百万円]	高齢者の地域生活を支援するため、定期巡回と通報による随時対応を組み合わせた「夜間対応型訪問介護」を開始 ○利用者数 H18: - ⇒ H22:460人/月
特別養護老人ホーム 新築費補助事業 保) 保健福祉部 [480百万円]	高齢者の地域生活を支援するため、地域密着型特別養護老人ホームの整備に対して補助を実施 ○地域密着型特別養護老人ホームの入所定員数 H18:51人 ⇒ H22:283人
重点課題2 障がい者の自立支援の促進	
施策1 共生に根ざした健やかな地域生活の支援	
高齢者、障がい者の生活あんしん支援事業【再掲】 保) 総務部 [225百万円]	判断力が低下した方のための総合的な相談窓口を開設するとともに、市社会福祉協議会が法人として法定後見業務を開始 ○総合的な相談窓口の設置 H18:検討 ⇒ H20:設置 ○社会福祉協議会の法人後見事業の実施 H18:検討 ⇒ H20:実施
障がい者グループホーム等の拡充 保) 保健福祉部 [52百万円]	単身生活が困難な障がいのある人の居住の場となる、障がい者グループホームなどを増設 ○グループホーム等の箇所数 H18:164カ所 ⇒ H22:268カ所
身近な地域における総合的な相談支援体制の拡充 保) 保健福祉部 [251百万円]	障がいのある人やその家族を対象に、総合的な相談支援を行うとともに、これに必要な相談支援体制を拡充 ○障がい者相談支援事業実施箇所数 H18:10カ所 ⇒ H22:16カ所 ○住宅入居等支援事業実施箇所数 H18:- ⇒ H22:7カ所

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
障がい児（者）に対する専門的な療育支援体制の拡充 保) 保健福祉部 [37百万円]	在宅で生活する障がいのある子どもなどを対象に、療育指導を行うとともに、関係機関への技術指導を行う実施施設を拡充 ○障がい児等療育支援事業実施箇所数 H18：5カ所 ⇒ H22：8カ所
施策2 協働による障がいのある人への就労支援	
障がい者雇用マッチング試行事業～「元気はっけん（派遣）」事業～ 保) 保健福祉部 [35百万円]	施設利用者、養護学校卒業生などを人材派遣会社に登録し、企業などに派遣する事業を試行的に実施 ○本事業により企業などに派遣される障がい者数 H18：－ ⇒ H22：5人/日
障がい者協働事業の拡充 保) 保健福祉部 [193百万円]	障がい者を5人以上雇用するなど一定の要件を満たす事業者に対して補助を行う「障がい者協働事業」を拡充 ○協働事業実施事業所数 H18：3カ所 ⇒ H22：10カ所
「元気ショップ」の拡充 保) 保健福祉部 [30百万円]	「元気ショップ2号店」を開設。また、「福祉ショップいこ～る」の集客力向上に向けた取り組みを実施 ○元気ショップ2号店の開設 H18：－ ⇒ H22：開設
障がい者地域活動支援センター（就労者支援型）の創設 保) 保健福祉部 [55百万円]	障がいのある人の雇用の促進と就労の安定を図るため、「地域活動支援センター（就労者支援型）」を設置 ○障がい者地域活動支援センター（就労者支援型）設置箇所数 H18：－ ⇒ H22：1カ所
施策3 障がいのある人にもやさしいまちのバリアフリー化	
交通バリアフリー推進事業 市) 総合交通計画部 [160百万円]	札幌市交通バリアフリー基本構想の見直しや交通事業者（JR、バス）の施設整備などに対して補助を実施 ○利用者5,000人/日以上以上のJR駅バリアフリー化(累計) H18：9駅 ⇒ H22：12駅 ○ノンステップバスの導入台数（累計） H18：51台 ⇒ H22：75台
福祉のまちづくり環境整備事業 保) 保健福祉部 [1,698百万円]	地下鉄駅にエレベーターおよび車いす使用者用トイレを設置 ○地下鉄駅へのエレベーター等設置 H18：43駅 ⇒ H22：47駅
ユニバーサルデザインの公園づくり事業 環) みどりの推進部 [1,692百万円]	出入口や園路の段差解消、傾斜路における手すりの設置、ベンチなどの休憩施設、身障者対応便所の設置などを実施 ○身障者対応便所の整備率 H18：20% ⇒ H22：30%
地下鉄駅施設のバリアフリー化の推進 交) 高速電車部 [875百万円]	全地下鉄駅施設に、視覚障がい者誘導用ブロックや車いす対応身障者トイレのオストメイト化などを実施 ○バリアフリー化されている駅数 H18：22駅 ⇒ H22：49駅(全駅)

政策目標 4 安全・安心で、人と環境にやさしい街

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
重点課題 1 水とみどりの保全・育成と創出	
施策 1 みどりの保全・育成	
みどり資源の保全推進事業 環) みどりの推進部 [1,385百万円]	特別緑地保全地区の土地の取得や、公益性のある市街地近郊の樹林地の公有化による樹林の保全 ○都市環境林面積（累計） H18：1,665ha ⇒ H22：1,678ha
施策 2 みどりの創出	
木立ちを感じる街づくり事業 環) みどりの推進部 [728百万円]	都心部や主要幹線道路における緑ゆたかな街路樹づくりの実施と、地域や家庭での植樹の取り組みへの支援 ○一家庭一植樹運動推進事業による植樹本数（累計） H18：19,294本 ⇒ H22：59,300本
さっぽろふるさとの森づくり事業 環) みどりの推進部 [39百万円]	公園予定地などにおける市民植樹祭や、市民参加による苗木づくり、樹木の育成活動の実施 ○市民植樹祭での植樹本数（累計） H18：56,350本 ⇒ H22：100,350本
北緯43° 花香る北の街づくり事業 環) みどりの推進部 建) 管理部 [200百万円]	地域が主体となって管理する花壇づくりの推進や、市民自ら花苗を育成して植栽する取り組みへの支援 ○コミュニティガーデン設置数（累計） H18：－ ⇒ H22：30カ所 ○花を活用した管理を行う道路残地箇所数（累計） H18：－ ⇒ H22：10カ所
創成川通親水緑地整備事業 環) みどりの推進部 建) 土木部 [2,100百万円]	創成川通アンダーパス連続化事業により創出される地上部分に、水とみどりを生かした新たな空間を整備 ○都心部における水とみどりの空間 H18：－ ⇒ H22：1.9ha
施策 3 水辺の保全・創出	
合流式下水道の改善事業 建) 下水道河川部 [1,982百万円]	雨天時の下水がそのまま河川に流れないように、ごみなどの流出防止策や初期降雨を貯留する施設整備の実施 ○吐口(はきぐち)対策実施済数(累計) H18：6カ所 ⇒ H22：22カ所 ○豊平川貯留管の整備進捗率 H18：－ ⇒ H22：35%
多自然川づくりの推進 建) 下水道河川部 [582百万円]	河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境および多様な河川景観を保全創出する河川整備の実施 ○多自然川づくり整備延長 H18：4.7km ⇒ H22：5.5km

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
施策4 水とみどりを楽しむ心の醸成	
みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業 環) みどりの推進部 [17百万円]	公園緑地の保全や利活用を一体的に進めるボランティア、リサイクル活動、情報提供拠点・ネットワークづくりなどへの支援 ○公園緑地ボランティア登録団体数 H18:31団体 → H22:50団体 ○利活用促進のためのイベント等実施数 H18:- → H22:100回
国際園芸博覧会構想の検討 市) 企画部 [12百万円]	国際園芸博覧会開催について基礎調査を実施し、市民意向を把握の上、開催誘致の是非を決定 ○開催誘致の是非決定 H18:- → H20:決定
重点課題2 地球環境問題への対応と循環型社会の構築	
施策1 環境行動を実践する人と街づくり	
「環境首都・札幌」宣言事業 環) 環境都市推進部 [7百万円]	地球温暖化対策への市の姿勢などを発信する「環境首都・札幌」宣言の実施、「さっぽろ地球環境憲章」の策定など ○「さっぽろ地球環境憲章」の策定 H18:- → H20:策定
CO₂削減普及推進事業(エコライフ定着関係事業) 環) 環境都市推進部 [134百万円]	具体的な二酸化炭素排出削減に向けた市民・事業者の自主的な環境保全行動の定着を図る普及啓発事業の推進 ○エコライフ行動レポートの集計に基づき試算されるCO ₂ 排出削減量 H18:- → H22:4万t
環境教育の推進 環) 環境都市推進部 [90百万円]	「地球環境問題」をテーマとして子どもを対象とする環境教育を行うための実践プログラムなどを策定 ○学校におけるエコライフ行動レポートの提出枚数(累計) H18:- → H22:54万枚
北海道の野生動物復元事業 環) 円山動物園 [671百万円]	希少動物であるオオワシやシマフクロウを繁殖し、自然界へ放鳥させるまでのプロジェクトをその過程から展示 ○オオワシ、シマフクロウの繁殖数 H18:- → H22:3羽 ○オオワシ、シマフクロウの放鳥数 H18:- → H22:3羽
円山動物園リニューアル事業 環) 円山動物園 [-]	動物園内の各種施設の改修、改築などについて、平成19年度内に策定する基本計画に基づき、順次実施 ○基本計画の策定 H18:- → H19:策定
施策2 省エネルギー、新エネルギーの普及促進	
建築物環境配慮事業 環) 環境都市推進部 [33百万円]	環境負荷の大きい大規模建築物の計画設計時に事業者が総合環境性能評価を行い、市が結果を公表する制度を導入 ○建築物環境配慮制度に基づく総合環境性能評価の提出件数(累計) H18:- → H22:300件

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
都市再生プロジェクト エネルギーネットワーク 構築事業費補助 環) 環境都市推進部 [766百万円]	都心部の未利用排熱の有効利用のため地域熱供給事業者が行う「札幌駅前通熱供給導管ピット整備事業」を支援 ○札幌駅前通熱供給導管ピット整備 H18：事業着手 ⇒ H22：完成
太陽光発電等設置 モデル事業 環) 環境都市推進部 [52百万円]	環境教育への活用、市民への新エネルギー導入促進のため、普及啓発効果の高い小学校へ太陽光発電設備を導入 ○学校への新エネルギー設備導入件数 H18：7件 ⇒ H22：10件
メガワットソーラー共同 利用モデル検討事業 環) 環境都市推進部 [-]	1,000kW規模の太陽光発電施設を建設し、市や地域の住民・事業者が共同利用するモデル事業を実施 ○1,000kW規模の太陽光発電所の設置 H18：- ⇒ H22：1施設
札幌・エネルギーeco プロジェクト 環) 環境都市推進部 [2,388百万円]	市・エネルギー事業者・金融機関共同で新たな融資・補助制度を創設し、市民の新エネ・省エネ設備導入を支援 ○新エネルギー設備等の新規融資額 H18：- ⇒ H22：10億円
施策3 みんなで進めるごみ減量、リサイクル	
札幌市一般廃棄物処理 基本計画の改定 環) 環境事業部 [-]	札幌市一般廃棄物処理基本計画を改定(「スリムシティさっぽろ計画」)し、新たなごみ減量・リサイクル施策を実施 ○計画の改定 H18：- ⇒ H19：改定
家庭用廃食油資源化 促進事業 環) 環境事業部 [11百万円]	家庭から排出される使用済み食用油の回収拠点となるスーパーマーケットなどに対し回収ボックス設置費を支援 ○廃食油回収拠点数 H18：43カ所 ⇒ H22：200カ所 ○廃食油回収量 H18：1,200ℓ/月 ⇒ H22：7,000ℓ/月
ごみ減量アクション プログラム支援事業 環) 環境事業部 [48百万円]	市民・事業者・市からなる「さっぽろスリムネット」のごみ減量実践活動への支援や実践者拡大の取り組みを実施 ○「さっぽろスリムネット」によるごみ減量実践活動への参加者数 H18：10,000人 ⇒ H22：20,000人
定山溪地区生ごみ 堆肥化推進事業 環) 環境事業部 [10百万円]	定山溪地区での生ごみ資源化の促進に向けた「バイオマスタウン構想」策定や生ごみ堆肥活用拡大のための調査 ○参加事業者の生ごみ分別量 H18：1.6t/日 ⇒ H22：3.2t/日
重点課題3 日常の身近な暮らしの安心の確保	
施策1 地域での防火・防犯対策	
開かれた消防活動の 推進 消) 予防部 [-]	小学4年生を対象に消防職員が体験型授業を行うとともに、市民が気軽に防火の相談ができる窓口を設置 ○「教えて！ファイヤーマン」事業の実施校数 H18：要望する全小学校(203校) ⇒ H22：要望する全小学校

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]		事業概要 達成目標
犯罪のない安全で安心なまちづくり推進事業 市) 地域振興部 [28百万円]	地域の防犯活動を支援する条例の制定や、薄野地区において犯罪の起こりにくい環境を整備 ○(仮称) 犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定 H18: - ⇒ H20: 制定	
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 教) 総務部 [67百万円]	児童の安全を守るため、警察官OBなどをスクールガードリーダーとして委嘱し、巡回活動などを実施 ○スクールガードリーダー数 H18: 39人 ⇒ H22: 50人	
施策2 日常の暮らしの安心		
民間建築物吹付けアスベスト対策事業 都) 建築指導部 [31百万円]	民間建築物の吹付けアスベストの分析調査や除去などの工事に対する支援を実施 ○アスベスト含有調査件数(累計) H18: - ⇒ H22: 30件 ○アスベスト除去等工事件数(累計) H18: - ⇒ H22: 24件	
東西線可動式ホーム柵設置事業 交) 高速電車部 [3,327百万円]	地下鉄東西線全駅のホームに、列車の各ドアに合わせて開閉する可動式ホーム柵を設置 ○可動式ホーム柵の設置駅数 H18: - ⇒ H22: 19駅	
救急隊増強整備 消) 警防部 [37百万円]	増加する救急需要などに対応するため、救急需要が多い東区札幌地区に救急隊を1隊増強 ○救急隊数 H18: 30隊 ⇒ H19: 31隊	
重点課題4 災害に強い安全なまちの整備		
施策1 住民等との協働による災害対策		
自主防災活動の推進 危) 危機管理対策部 [72百万円]	地域の単位町内会などを自主防災活動の主体と位置付け、防災資機材の助成などにより地域の主体的な取り組みを推進 ○防災リーダー研修への参加者数 H18: 750人 ⇒ H22: 800人	
簡易型災害図上訓練(DIG)への支援 危) 危機管理対策部 [5百万円]	簡易型災害図上訓練(DIG)を普及させるため普及員などを養成し、地域が実施するDIGを支援 ○DIG実施支援回数 H18: 18回 ⇒ H22: 100回	
災害時要援護者避難支援対策 危) 危機管理対策部 保) 総務部 [12百万円]	災害時に手助けが必要な人(災害時要援護者)の支援のため、避難支援のガイドライン作成など地域での取り組みを促進 ○災害時要援護者避難支援モデル事業実施数(累計) H18: - ⇒ H22: 10カ所	

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
施策2 地域防災力の強化	
地震等防災対策の充実と避難体制の強化 危) 危機管理対策部 [95百万円]	地震、洪水のハザードマップの作成と、洪水や土砂災害発生時の避難勧告などの判断・伝達マニュアルの作成 ○避難勧告等の判断・伝達マニュアル(土砂災害編・洪水災害編)の作成 H18: - → H22: 完了 ○ハザードマップ(地震、洪水(南区・清田区))の作成・配布 H18: - → H22: 完了
防災行政無線拡充整備 危) 危機管理対策部 [288百万円]	災害時に備え、まちづくりセンターや小学校などにデジタル式防災行政無線を整備 ○防災行政無線整備数 H18: 518基 → H21: 818基
防災情報伝達モデル等推進事業 危) 危機管理対策部 [3百万円]	大規模災害発生時の避難勧告などを迅速に伝えるため、実証実験の実施と効果的な情報伝達方法を検討 ○防災・危機管理情報伝達システムの整備方針策定 H18: - → H22: 完了
「豊平川札幌地区河川防災ステーション」整備事業 都) 開発事業部 [311百万円]	東雁来第2土地区画整理地区内に、豊平川の洪水時などにおける防災減災に向けた拠点施設を整備 ○水防センター建設 H18: - → H22: 工事完了
施策3 公共施設等の耐震機能の強化	
区役所施設等耐震補強事業 市) 地域振興部 [1,025百万円]	「市有建築物耐震化緊急5カ年計画」に基づき、耐震性能が低い区役所や保健センターなどの耐震改修や改築を実施 ○耐震性能の強化 H18: - → H22: 耐震補強実施
学校施設耐震補強事業 教) 総務部 [5,138百万円]	「市有建築物耐震化緊急5カ年計画」に基づき、耐震性能が低い学校施設の耐震補強を実施 ○耐震性能が低い学校施設(5カ年計画対象施設)の耐震補強着手数 H18: 3校 → H22: 48校
学校改築事業 教) 総務部 [13,589百万円]	「市有建築物耐震化緊急5カ年計画」に基づき、耐震性能が低く、老朽化が著しい学校施設を改築 ○耐震性能が低く老朽化が著しい学校施設(5カ年計画対象施設)の改築着手数 H18: - → H22: 4校
中島体育センター耐震補強事業 観) スポーツ部 [6百万円]	「市有建築物耐震化緊急5カ年計画」に基づき、中島体育センターの耐震補強を実施 ○耐震性能の強化 H18: - → H20: 耐震補強実施

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
消防施設耐震補強事業 消) 総務部 [41百万円]	<p>「市有建築物耐震化緊急5カ年計画」に基づき、耐震性能が低い南消防署と大通出張所の耐震補強を実施</p> <p>○耐震性能の強化 H18：－ ⇒ H22：耐震補強実施</p>
災害に強い道づくり事業(橋りょうの耐震化) 建) 土木部 [2,840百万円]	<p>大規模な災害時に救急・消火及び緊急物資の輸送などに使う緊急輸送路の機能を確保するための橋りょうの耐震補強を実施</p> <p>○耐震補強実施済橋りょう数(累計) H18：26橋(34.7%) ⇒ H22：45橋(60%)</p> <p>○第1次緊急輸送道路における耐震補強実施済橋りょう数(累計) H18：11橋(68.8%) ⇒ H22：16橋(100%)</p>
札幌市災害時基幹病院へ向かう配水管の耐震化 水) 給水部 [1,477百万円]	<p>大規模地震災害時においても適切な医療活動ができるよう、札幌市災害時基幹病院へ向かう配水管の耐震化を実施</p> <p>○供給ルートが全て耐震化されている札幌市災害時基幹病院数 H18：－ ⇒ H22：12カ所</p>
民間建築物耐震化促進事業 都) 市街地整備部 都) 建築指導部 [308百万円]	<p>「札幌市耐震改修促進計画」を策定するとともに、民間建築物の耐震化の促進に向けた耐震診断支援を実施</p> <p>○札幌市耐震改修促進計画の策定 H18：検討 ⇒ H19：策定</p> <p>○札幌市内の住宅の耐震化率 H18：82.8% ⇒ H22：85.5%</p>

政策目標 5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
重点課題 1 札幌の特色を活かした文化芸術の振興	
施策 1 多様な文化芸術に親しみ、交流・発信する環境づくり	
サッポロ・シティ・ジャズ <small>観) 文化部 [33百万円]</small>	市内各所でのジャズライブほか、海外ジャズフェスティバルとの交流、ワークショップなどの教育プログラムを開催 ○イベント観客動員数 H18: 4,000人 ⇒ H22: 10万人 ○市民ボランティア登録者数 H18: - ⇒ H22: 600人 ○パークジャズライブ参加者数 H18: 65人 ⇒ H22: 3,000人
パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助 <small>観) 文化部 [658百万円]</small>	世界の3大教育音楽祭の一つであるパシフィック・ミュージック・フェスティバル (PMF) に対して事業費補助を実施 ○PMFで指導を受けるためのオーティション(オーケストラコース)応募者数 H18: 1,348人 ⇒ H22: 1,468人
創成川アートワーク事業 <small>観) 文化部 [58百万円]</small>	創成川通アンダーパス連続化事業により生まれる親水緑地空間に、アートワークを設置 ○アートワークの設置 H18: - ⇒ H22: 設置
(仮称) SAPPOROアート&コミュニティセンター整備事業 <small>市) 企画部 [324百万円]</small>	旧曙小学校の跡施設を活用して、文化芸術と地域の融合を目指した文化芸術活動拠点を整備 ○文化芸術団体と地域との交流イベント数 H18: 1回 ⇒ H22: 4回
厚生年金会館存続の検討 <small>市) 企画部 [21百万円]</small>	北海道厚生年金会館の官民協働による取得、運営、資金調達などの枠組みを構築し、会館存続に向けた取り組みを推進 ○北海道厚生年金会館の存続 H18: - ⇒ H22: 存続
芸術文化情報発信事業 <small>観) 文化部 [4百万円]</small>	文化情報や観光情報を集約・発信する「観光文化情報ステーション」を地下鉄大通駅コンコースに設置 ○来場者数 H18: 12,000人 (37日間) ⇒ H22: 10万人 (年間) ○ホームページのアクセス (接続) 数 H18: - ⇒ H22: 20万回
施策 2 市民が自ら作り上げる文化活動の振興	
文化活動練習会場 学校開放事業 <small>観) 文化部 [5百万円]</small>	市内のアマチュアグループや市民などに対して、小学校の教室などを開放し、練習会場や創作の場を提供 ○開放教室数 H18: 21教室 ⇒ H22: 24教室
佐藤忠良関連施設整備事業【再掲】 <small>観) 文化部 [358百万円]</small>	芸術の森野外美術館内に、札幌市ゆかりの彫刻家である佐藤忠良の作品を収蔵・展示する施設を建設 ○施設開設 H18: - ⇒ H20: 開設

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]		事業概要 達成目標
子どもの美術体験事業【再掲】 観) 文化部 [4百万円]	子どもたちに美術を体験してもらうために、小学校へ芸術家を派遣したり、小学生を美術館に招待する体験事業を実施 ○参加児童数(累計) H18: - ⇒ H22: 3,200人	
子どもの映像制作体験事業【再掲】 観) 文化部 [5百万円]	中学生を対象に、芸術の森などを撮影舞台として、プロの指導のもと映像制作のワークショップを実施 ○参加者数(累計) H18: - ⇒ H22: 50人	
施策3 文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承		
都市景観重要建築物等の保全事業【再掲】 市) 都市計画部 [30百万円]	都市景観重要建築物などの保存のための一部助成や歴史的建造物を生かした景観ガイドラインの策定 ○都市景観重要建築物等の指定件数 H18: 18件 ⇒ H22: 30件	
文化財施設維持保存事業 観) 文化部 [186百万円]	文化財を良好な状態で保存・活用し継承していくため、適切な維持・管理や、計画的な整備・補修などを実施 ○補修工事等実施施設数 H18: 1施設 ⇒ H22: 5施設 ○保全改修計画の策定 H18: 3施設 ⇒ H22: 7施設	
博物館活動センター展示室整備事業 観) 文化部 [15百万円]	大型動物化石総合調査の成果を活用し、市民に発信していくため、サツポロカイギユウに係る展示空間を整備 ○展示室の整備 H18: - ⇒ H20: 整備	
札幌市アイヌ施策推進計画策定 市) 市民生活部 [10百万円]	アイヌ民族の伝統文化の保存・継承・振興などを図り、歴史・文化・自然観などへの市民理解を推進するためのアイヌ施策推進計画を策定 ○札幌市アイヌ施策推進計画の策定 H18: - ⇒ H21: 策定	
重点課題2 スポーツを楽しむ環境の充実と健康づくりの推進		
施策1 スポーツを楽しむ環境づくり		
中央体育館改築事業 観) スポーツ部 [-]	中央体育館の老朽化が著しく耐震補強も必要なことから、改築のための事業計画の策定や調査を実施 ○整備計画策定と調査実施 H18: - ⇒ H22: 計画策定と調査完了	
子ども体力向上事業 観) スポーツ部 [23百万円]	子どもの体力・運動能力の低下への対応として、身近な場所で子どもの発達段階に応じた運動教室などを実施 ○運動教室数 H18: モデル2教室 ⇒ H22: 全市で100教室 ○指導者養成数(累計) H18: 5人養成中 ⇒ H22: 50人	
パークゴルフのできる公園整備事業 環) みどりの推進部 [-]	都市公園内にパークゴルフ場を整備 ○都市公園内のパークゴルフ場のコース数 H18: 47コース ⇒ H22: 52コース	

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
厚別清掃工場跡地パークゴルフ場等整備事業 厚) 市民部 [84百万円]	厚別清掃工場跡地に、パークゴルフ場と芝生広場を整備 ○パークゴルフ場 H18：－ ⇒ H21：供用開始
施策2 地域でのスポーツと健康づくりの推進	
地域スポーツクラブ支援事業 観) スポーツ部 [11百万円]	市民の主体的な運営・活動による札幌らしい総合型地域スポーツクラブの設立を促進するための支援を実施 ○総合型地域スポーツクラブの設立 H18：1カ所 ⇒ H22：5カ所
「健康さっぽろ21」推進事業 保) 健康衛生部 [6百万円]	市民の主体的・継続的な健康づくりを支援するための環境づくりを進め、計画最終年度に向けた重点的な施策・取り組みを推進 ○健康づくり応援企業・店舗数 H18：1,227件 ⇒ H22：2,000件
市民健康づくりサポート事業 保) 健康衛生部 [18百万円]	平成20年度の医療制度改革に向け、メタボリック対策に重点をおいた市民一人ひとりの健康づくりを支援 ○ウォーキング実践指導ボランティアの育成人数 H18：－ ⇒ H22：200人
施策3 ウィンタースポーツの活性化	
ウィンタースポーツ振興事業 観) スポーツ部 [10百万円]	ウィンタースポーツ体験キャンペーンや、小・中学校でのウィンタースポーツ体験事業などの普及啓発を実施 ○ウィンタースポーツをする人の割合 H18：13% ⇒ H22：20% ○ウィンタースポーツ体験事業数 H18：2事業 ⇒ H22：20事業
ウィンタースポーツミュージアム体験装置・展示品リニューアル 観) スポーツ部 [132百万円]	機器の老朽化により更新が必要なジャンプシミュレーターなど体験装置の改修や、展示品の収集・更新などを実施 ○観覧者数 H18：121,946人 ⇒ H22：133,800人
重点課題3 将来を見据えた魅力ある都市の整備	
施策1 都心のまちづくり	
創世交流拠点整備事業(創世1.1.1区再開発事業) 市) 企画部 [57百万円]	(仮称)市民交流複合施設の整備を含め、都心の新たな拠点形成を図るため、創世1.1.1区再開発事業を推進 ○創世1.1.1区街づくり指針の策定 H18：検討 ⇒ H19：策定 ○北1西1・大通東1再開発基本計画の策定 H18：検討 ⇒ H19：策定
(仮称)市民交流複合施設整備事業 市) 企画部 [50百万円]	市民会館の後継施設である(仮称)市民交流複合施設について、施設内容などを幅広く検討 ○施設基本計画の策定 H18：検討 ⇒ H20：策定 ○施設実施方針の策定 H18：－ ⇒ H20：策定

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
札幌駅交流拠点再整備 構想策定事業 市) 企画部 [22百万円]	道都の玄関口にふさわしい交流拠点を目指した札幌駅周辺再整備構想を策定 ○札幌駅交流拠点再整備構想の策定 H18：－ ⇒ H22：策定
札幌駅前通地下歩行 空間整備事業 建) 土木部 [14,126百万円]	地下鉄さっぽろ駅と大通駅を連絡する地下歩行空間の整備を引き続き実施 ○地下歩行空間（地下歩道）の整備 H18：工事中 ⇒ H22：供用開始
札幌駅前通地下歩行 空間活用推進検討 市) 総合交通計画部 [180百万円]	これまでの検討を踏まえた施設運営・空間活用のルールや制度の具体化、施設整備を実施し、民間による運営体制を確立 ○関連条例の制定 H18：検討 ⇒ H22：制定 ○「にぎわい」がある空間の創出 H18：検討 ⇒ H22：供用準備完了
創成川通アンダーパス 連続化事業 建) 土木部 [10,436百万円]	創成川通の北と南の2つのアンダーパス連続化工事を引き続き実施 ○アンダーパス連続化 H18：工事中 ⇒ H20：供用開始 ○創成川通地上道路部分整備 H18：工事中 ⇒ H22：完成
創成川通親水緑地整備 事業【再掲】 環) みどりの推進部 建) 土木部 [2,100百万円]	創成川通アンダーパス連続化事業により創出される地上部分に、水とみどりを生かした新たな空間を整備 ○都心部における水とみどりの空間 H18：－ ⇒ H22：1.9ha
施策2 快適で魅力的な地域への再構築	
地域特性に応じた 土地利用の再構築事業 市) 都市計画部 [50百万円]	土地利用ルールのあり方や土地利用転換など、時代の変化に対応した再構築の検討や地域のまちなみルールの創設 ○地区計画の決定、変更数 H18：－ ⇒ H22：3地区 ○地域まちなみづくり推進制度の策定 H18：検討 ⇒ H21：策定
都市景観重要建築物等 の保全事業 市) 都市計画部 [30百万円]	都市景観重要建築物などの保存のための一部助成や歴史的建造物を生かした景観ガイドラインの策定など ○都市景観重要建築物等の指定件数 H18：18件 ⇒ H22：30件
自転車利用適正化対策 事業 市) 総合交通計画部 [30百万円]	自転車走行空間、駐輪対策、利用ルール・マナーなどを総括した総合計画を策定 ○(仮称) 自転車利用総合計画の策定 H18：調査、検討 ⇒ H21：策定 ○駐輪場附置義務条例の適用対象施設拡大 H18：調査等 ⇒ H21：条例改正
民間再開発による地域 まちづくりへの支援事業 都) 市街地整備部 [2,605百万円]	JR篠路駅西第2地区、琴似4・2地区をはじめとした再開発事業を支援するとともに、その他2地区において基本計画を策定 ○JR篠路駅西第2地区再開発事業 H18：－ ⇒ H21：完了 ○琴似4・2地区再開発事業 H18：－ ⇒ H22：完了

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
施策3 公共交通機関の利便性向上	
路面電車活用方針検討調査 市) 総合交通計画部 [67百万円]	検討会議から提案された活用の方向性に基づいて検討・検証を行い、事業化判断に必要な基本計画(案)を策定 ○基本計画(案)の策定 H18:検討 ⇒ H21:策定
交通バリアフリー推進事業【再掲】 市) 総合交通計画部 [160百万円]	札幌市交通バリアフリー基本構想の見直しや交通事業者の施設整備などに対して補助を実施 ○利用者5,000人/日以上>JR駅バリアフリー化(累計) H18:9駅 ⇒ H22:12駅 ○ノンステップバスの導入台数(累計) H18:51台 ⇒ H22:75台
交通結節点改善事業(JR白石駅周辺地区) 建) 土木部 [4,524百万円]	JR白石駅周辺において、市街地の一体化と乗り継ぎ利便性向上のため、自由通路、駅前広場などの整備を引き続き実施 ○JR白石駅自由通路の整備 H18:- ⇒ H22:供用開始
地下鉄ICカードシステムの導入 交) 事業管理部 [3,271百万円]	老朽化に伴う改札機などの更新に併せた地下鉄関連機器のICカード化への対応 ○地下鉄へのICカードの導入 H18:- ⇒ H20:導入
交通ICカードの導入と活用 市) 情報化推進部 [5百万円]	地下鉄において先行導入予定であるICカードの民間バス事業者との共通化や商業、行政利用との連携の枠組みの検討 ○ICカードの商業、行政利用との連携枠組み検討 H18:- ⇒ H21:検討
重点課題4 新たな集客交流資源の創出と魅力の発信	
施策1 観光魅力づくりの推進	
さっぽろ雪まつり魅力アップ事業 観) 観光部 [112百万円]	さとらんど会場における市民参加のしくみづくりへの支援や、駐車場増設などおもてなし向上の取り組みの実施など ○参加団体数 H18:9団体 ⇒ H22:15団体 ○雪まつりの満足度 H18:57.7% ⇒ H22:70.0%
藻岩山魅力アップ事業 観) 観光部 [604百万円]	老朽化したロープウェイや展望台などの施設の再整備や、ソフト事業の展開によって藻岩山の魅力アップを推進 ○藻岩山の再整備 H18:- ⇒ H22:整備
新たな秋のイベント事業 観) 観光部 [149百万円]	大型イベントの少ない秋に、大通公園において「秋の豊穰祭」をテーマとした新たな集客イベントを実施 ○観客数 H18:- ⇒ H22:80万人
大通公園スケートリンク・スクエア事業 観) 観光部 [160百万円]	かつて札幌の冬の風物詩であったスケートリンクを大通公園西1丁目に設置し、気軽なスケート体験の機会を提供 ○利用者数 H18:- ⇒ H22:1万人

重点課題・施策・事業名 担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
北緯43° 花香る北の街 づくり事業【再掲】 環) みどりの推進部 建) 管理部 [200百万円]	地域が主体となって管理する花壇づくりの推進や、市民自ら花苗を育成して植栽する取り組みへの支援 ○コミュニティガーデン設置数(累計) H18: - ⇒ H22: 30カ所 ○花を活用した管理を行う道路残地箇所数(累計) H18: - ⇒ H22: 10カ所
施策2 観光客及びコンベンションの受入強化と誘致促進	
観光都市さっぽろ推進 事業 観) 観光部 [150百万円]	国内外の個人客への対応充実や、札幌の魅力発掘・発信など、まち全体の魅力を高め、来客者の増加を目指す事業を展開 ○外国人観光客のリピーター率 H18: 25.4% ⇒ H22: 30% ○札幌観光の満足度(おもてなし) H18: 69.5% ⇒ H22: 75% ○コンベンションの開催件数 H18: 911件 ⇒ H22: 1,050件
首都圏シティPR事業 総) 東京事務所 [92百万円]	首都圏において、広告メディアや集客イベントで札幌の魅力を発信し、観光客やコンベンションの誘致を実施 ○観光集客イベントの集客人数 H18: 7.1万人 ⇒ H22: 7.5万人 ○コンベンション開催団体への訪問回数 H18: 501件 ⇒ H22: 620件
ターゲット別国内観光 プロモーション事業 観) 観光部 [36百万円]	旅行会社、首都圏・関西圏の一般市民など対象別に、説明会やプロモーション、旅行商品開発支援など誘致宣伝活動を実施 ○道外観光客の来客数 H18: 6,398千人 ⇒ H22: 6,791千人 ○スイーツを楽しみにした観光客の増加 H18: 24.2% ⇒ H22: 35%
国際観光誘致事業 観) 観光部 [44百万円]	東アジアやオセアニアなどを対象として、メディアを活用したイメージ発信や旅行商品開発支援などの誘致宣伝を実施 ○外国人延べ宿泊者数 H18: 559,272人 ⇒ H22: 70万人
国際園芸博覧会構想の 検討【再掲】 市) 企画部 [12百万円]	国際園芸博覧会開催について基礎調査を実施し、市民意向を把握の上、開催誘致の是非を決定 ○開催誘致の是非決定 H18: - ⇒ H20: 決定
施策3 道内各市町村と連携した魅力の発信	
都心部における北海道 の魅力発信事業【再掲】 市) 企画部 [65百万円]	道内各市町村との連携による食や観光資源などの情報発信や特産品の販売を行う拠点を都心部に整備 ○来場者数 H18: - ⇒ H22: 10万人 ○道内各地域からの出展者数 H18: - ⇒ H22: 50件
新たな秋のイベント事業 【再掲】 観) 観光部 [149百万円]	大型イベントの少ない秋に、大通公園において「秋の豊穰祭」をテーマとした新たな集客イベントを実施 ○観客数 H18: - ⇒ H22: 80万人
(仮称)札幌広域ドライ ブルートマップ作成事業 観) 観光部 [12百万円]	札幌を基点とした車での日帰り圏内のドライブルートマップを作成配布し、ホームページで情報を発信 ○参画施設の入場者数の伸び率 H18: - ⇒ H22: 1.5%アップ

4 各区役所の計画事業

市民にとって身近な区役所では、区や地域の特性を活かした魅力あふれる地域づくりを進めるためにさまざまな事業を実施し、市民の主体的なまちづくり活動を支援しています。

ここでは、計画期間内（平成19～22年度）において実施される区役所の事業のうち、施政方針に掲げる5つの政策目標と15の重点課題に沿った事業や、区が抱える課題の解決につながる、あるいは区の特性を活かした取り組みの中で、本計画事業として位置づけたものをご紹介します。

区名 事業名・担当部・[計画事業費]	事業概要 達成目標
各区実施事業	
中央区	
市立大学と進める すこやかで安心な まちづくり事業 中) 市民部 [-]	市立大学看護学部と区の連携協働により、都市化・少子高齢化に対応した区実施プランを策定し、地域での保健福祉活動を展開 ○市立大学との連携協働のしくみづくり H18：－ ⇒ H22：構築 ○しくみを活用しての区実施プランの策定 H18：－ ⇒ H22：策定
北区	
子どもの安全を地域で守る 地域安全マップづくり 事業 北) 市民部 [5百万円]	子どもたちが地域住民と協力して地域安全マップを作成し、防犯意識を向上させるとともに、地域に配布し情報を共有化 ○区内で地域安全マップが作成されている小学校区数 H18：－ ⇒ H22：8校区（29校中）
東区	
アマとホップの フラワーロード推進事業 東) 市民部 [4百万円]	地域の歴史にちなんだアマとホップの植栽活動を通して、地域の賑わいを創出する地域主体の特色ある取り組みを支援 ○フラワーロードの延長、プランター（栽培容器）設置数 H18：2,200m、130基 ⇒ H22：2,650m、230基 ○参加団体数 H18：12団体 ⇒ H22：15団体
地域と大学の 連携推進事業 東) 市民部 [4百万円]	東区内の大学と地域が連携し、健康づくりや子育てなどの取り組みの実践による成果を取り入れた各種活動を支援 ○地域と大学との連携事業数 H18：1事業 ⇒ H22：4事業
白石区	
高齢者が安心して暮らせる まちづくり推進事業 白) 保健福祉部 [6百万円]	「要援護者」の福祉ニーズの把握による効果的な福祉支援活動の実施と地域住民を中心とした支援体制を整備 ○地域における要援護者への体制づくり H18：－ ⇒ H22：全地区での取り組み
厚別区	
サイクリングロード モザイクアート事業 厚) 市民部 [4百万円]	サイクリングロードのトンネル内の壁面をモザイクアートで飾り、犯罪を誘発させない環境を構築 ○アート壁面（累計） H18：1面 ⇒ H22：5面
厚別清掃工場跡地パーク ゴルフ場等整備事業 厚) 市民部 [84百万円]	厚別清掃工場跡地に、パークゴルフ場と芝生広場を整備 ○パークゴルフ場 H18：－ ⇒ H21：供用開始

区 名	事 業 概 要
事業名・担当部・[計画事業費]	達 成 目 標
豊 平 区	
「安全・安心な街とよひら」 推進事業 豊) 市民部 [4百万円]	(仮称)豊平区地域安全会議の立ち上げや各地域の災害訓練、防犯活動に対する支援を実施 ○(仮称)地域安全会議等の開催回数(累計) H18: - ⇒ H22: 7回 ○簡易型災害図上訓練等の開催回数(累計) H18: 3回 ⇒ H22: 12回
豊平スポーツ・ 健康づくり応援事業 豊) 市民部 [14百万円]	大学生や住民と協働したスポーツイベントの開催やファイターズ、コンサドーレの応援イベントを実施 ○スポーツイベント等参加者数 H18: 700人 ⇒ H22: 1,000人 ○ファイターズ、コンサドーレ応援イベント参加者数 H18: 2,000人 ⇒ H22: 5,000人
清 田 区	
やすらぎ歩行空間プラン の策定 清) 市民部・土木部 [8百万円]	市道清田4号線(旧国道36号線)における歩行空間づくりのプランを、区民参加のまちづくりに関する会議を立ち上げて策定 ○やすらぎ歩行空間プランの策定 H18: - ⇒ H22: 策定
南 区	
落葉から環境保全と地域 交流事業(香りとみどりに あふれたまちづくり) 南) 市民部 [7百万円]	住民・学校などと連携し、環境保全教育を進めるとともに、宿根草・ハーブを主とした循環型モデルガーデンを設置 ○参加団体数 H18: 2団体 ⇒ H22: 15団体
西 区	
地球に優しいまちづくり 支援事業 西) 市民部 [15百万円]	地域の自主的な環境活動への支援や環境負荷低減の先取的な取り組み・システムの試験的導入による検証の実施 ○計画期間中の環境活動への参加者数 H18: 24,322人 ⇒ H22: 36,500人
手 稲 区	
知的障がい者等を対象と したホームヘルパー養成 モデル事業 保) 保健福祉部 手) 保健福祉部 [8百万円]	高等養護学校の卒業生などの知的障がい者を対象としたホームヘルパー3級養成講座をNPOと連携して実施 ○講座を受講した障がい者数(累計) H18: - ⇒ H22: 25人

5 計画の事業数と事業費

将来を見通すことが難しく厳しい財政状況を踏まえ、政策目標や重点課題に沿って4年間に重点的に進めるべき事業を厳選しました。

●政策目標別の計画事業数

	合 計	政 策 目 標				
		子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街	主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街	安全・安心で、人と環境にやさしい街	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街
事 業 数	275	54	45	42	78	86

●計画事業費および政策目標別の事業費集計

(単位：百万円)

	合 計	政 策 目 標					
		子どもを生き育てやすく、健やかに はぐくむ街	主体的な活動が生まれ、 経済の活力 みなぎる街	高齢者・障がい者へのぬく もりあふれる 街	安全・安心で、 人と環境にや さしい街	文化の薫る、 都市の魅力が 輝き、 にぎわう街	
事 業 費	451,600	12,402	336,197	16,290	51,148	48,617	
財 源 内 訳	国・道 支 出 金	32,332	1,641	3	4,195	12,361	18,174
	市 債	40,496	3,489	318	6,152	19,074	16,969
	そ の 他 特 定 財 源	338,719	52	331,476	610	4,751	1,830
	一 般 財 源	40,053	7,221	4,400	5,334	14,962	11,644

注1：計画事業のうち、複数の施策に該当するものは重複して計上しているため、事業数および事業費の合計欄の数値は、各政策目標を合計した数値と一致しない。

注2：事業費各欄の数値は十万円単位で四捨五入しているため、事業費欄の数値と財源内訳の合計数値とが一致しない場合がある。

6 公共施設における保全、長寿命化などの取り組み

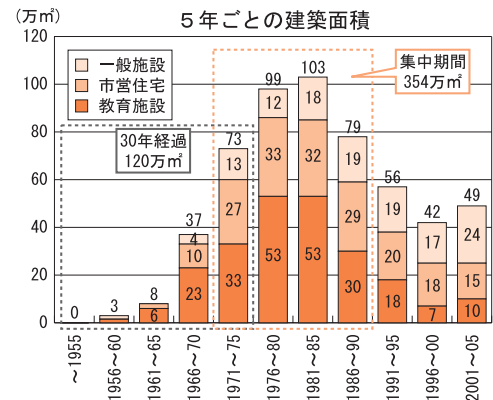
現 状

札幌市では、政令指定都市へ移行したあと、都市の拡大にあわせて公共施設整備を進め、サービスの向上に努めてきましたが、これら公共施設の老朽化が進み、今後一斉に更新時期を迎えることが予想されます。

市有建築物の現状

札幌市が所有する公共施設等（企業会計が所有する施設を除く）の建築物の総延床面積は549万㎡（市役所本庁舎130個分）。

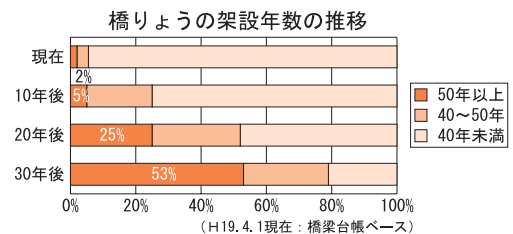
- 1971～90年度の20年間に354万㎡が集中（全体の約64%相当）。
- 1975年以前に建築し、築後30年を経過している施設は120万㎡（全体の約22%相当）。



橋りょうの現状

札幌市が管理している橋は、道道も含め1,235橋。

- 架設から50年以上経過した橋りょうは約2%にあたる21橋（平成19年4月1日現在）。
- 30年後には、架設から50年以上の橋りょうは約半数にまで増加。



課 題

老朽化が進むなか施設の長寿命化を目指し、維持補修や改修などの保全および計画的な更新を限られた予算の中で適切に進めていく必要があります。

施設の長寿命化

更新に係る費用の抑制と平準化を図るために、既存施設の長寿命化を行います。

保全に関する費用の縮減

長寿命化を実施するにあたっては、維持補修や改修を繰り返し行う必要があり、これら保全に関する費用が膨らんでいくことが想定されます。このため、維持管理の最適化、予防的な保全体制への移行や保全業務の一元化などにより、費用の縮減を図ります。

計画的な更新

更新を実施するにあたっては、施設の必要規模、施設の統廃合や複合化などを検討し、計画的に進めます。

今後の取り組み

今回策定する「第2次札幌新まちづくり計画」では、緊急的に対応が必要な耐震改修などを除き、施設保全・維持補修などの事業は計画の対象外としていますが、公共施設の保全および維持管理、計画的な更新、長寿命化などの事業については、今後も安定・継続したサービスを提供できるよう、道路、市有建築物などの保全・整備計画や方針を策定するなど、財政状況を見極めながら着実に実施していきます。

主な取組内容

■公共施設の保全および維持管理に関する事業

- 市有建築物ストックマネジメントの推進（都市局）
 - 予防的な保全体制、保全業務の一元化（平成24年度までに約450施設の保全業務の一元化）
- 道路維持管理最適化計画（建設局）
 - 舗装、橋りょうなどの維持管理計画の策定（市管理道路約5,400km、1,235橋）

■計画的な更新、長寿命化に関する事業

- 市有建築物の更新
 - 札幌苗、青葉（青葉会館）まちづくりセンター（市民まちづくり局）
 - 北郷児童会館（子ども未来局）
 - 豊平清掃事務所（環境局）
 - 篠路出張所（消防局）
 - 下野幌、幌北団地（都市局）
 - 区役所建替計画の検討（市民まちづくり局）
- 私立保育園改築費補助（子ども未来局）
 - 札幌市の待機児童対策を担う私立保育園の老朽化に伴う改築等支援
- 清掃工場延命化等事業（環境局）
 - 篠路清掃工場の延命化を実施
- 水道管路・施設の改築・更新（水道局）（「札幌水道長期構想」「札幌水道経営プラン」）
 - 配水管の更新（水道管総延長約5,800km）、施設における設備などの更新
- 下水道管路・施設の改築・更新（建設局）（「札幌市下水道事業中期経営プラン」）
 - 老朽管の改築（管理対象管路延長約8,000km）、施設における設備更新
- 路面電車事業（交通局）（「交通局実施プラン」）
 - 軌道の改良（営業路線長約8.5km）

7 主な施設、サービス水準

施設（サービス）名	計画事業量 (19~22年度)	整備水準（見込み）	
		18年度末	22年度末
政策目標1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街			
認可保育所	新規 1,020人	16,730人	17,750人
延長保育事業	新規 26カ所	146カ所	172カ所
一時保育事業	新規 20カ所	63カ所	83カ所
休日保育事業	新規 2カ所	1カ所	3カ所
乳幼児健康支援デイサービス事業	新規 1カ所	4カ所	5カ所
妊婦一般健康診査	公費負担拡大	1回	5回
乳幼児医療費助成	助成拡充	4歳以上 課税世帯1割負担	就学前まで 原則無料化
新生児訪問指導	対象拡大	第1子、必要と判断 される第2子以降	全出生児
不妊治療費助成	助成拡充	上限10万円を年1回 所得制限650万円未満	上限10万円を年2回 所得制限730万円未満
区保育・子育て支援センター事業	新規 3カ所	3カ所	6カ所
外国語指導助手	新規配置	43人	58人
学校図書館地域開放	新規 12校	87校	99校
奨学金（高校・大学生）	対象拡大	456人	1,000人
児童家庭支援センター事業	新規 2カ所	2カ所	4カ所
スクールカウンセラー	相談拡充	小学：－ 中学：週6時間	小学：月4時間 中学：週8時間
児童クラブなどの障がい児受入	体制拡充	2人以上で 指導員加配、助成	1人以上で 指導員加配、助成
特別支援教育巡回相談員	新規配置	3人	10人
地域小規模児童養護施設	新設 1カ所	－	1カ所
児童会館の中・高校生の利用促進	時間延長	20館	104館
ミニ児童会館	新設 30館	40館	70館

施設（サービス）名	計画事業量 (19~22年度)	整備水準（見込み）	
		18年度末	22年度末
政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街			
地区センター	新設 1館	23館	24館
政策目標3 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街			
敬老優待乗車証	利用限度額拡大	5万円	7万円
高齢者向け優良賃貸住宅	新規 200戸	147戸	347戸
地域包括支援センター (介護・健康何でも相談センター)	新設 4カ所	17カ所	21カ所
特別養護老人ホーム	新設 8カ所	47カ所	55カ所
障がい者グループホーム等	新設 104カ所	164カ所	268カ所
障がい者相談支援事業	新規 13カ所	相談支援：10カ所 住宅支援：0カ所	相談支援：16カ所 住宅支援：7カ所
障がい児等療育支援事業	新規 3カ所	5カ所	8カ所
障がい者協働事業	新規 7カ所	3カ所	10カ所
地下鉄駅エレベーター等設置	新設 4駅	43駅	47駅
地下鉄駅施設のバリアフリー化	整備 27駅	22駅	49駅
政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街			
防災行政無線	整備 300基	518基	818基
地下鉄可動式ホーム柵設置	新設 19駅	—	19駅
救急隊	新規 1隊	30隊	31隊
政策目標5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街			
文化活動練習会場学校開放	新規 3教室	21教室	24教室
都市公園のパークゴルフ場	新設 5コース	47コース	52コース

8 市民意見等による第2次札幌新まちづくり計画（案）の変更

第2次札幌新まちづくり計画（案）を平成19年10月10日に公表し、パブリックコメントによる意見募集を行いました（下記参照）。さらに、市議会財政市民委員会に案の説明を行い、質問やご意見をいただきました。これらのご意見などのうち、計画に反映できるものについて計画内容を変更しています。

9 パブリックコメントの実施結果

- 実施期間 平成19年10月10日～11月8日（30日間）
- 提出方法 郵送、持参、FAX、電子メール、その他
- 意見提出者 94名（団体を含む）
- 意見件数 198件

《意見の内訳》

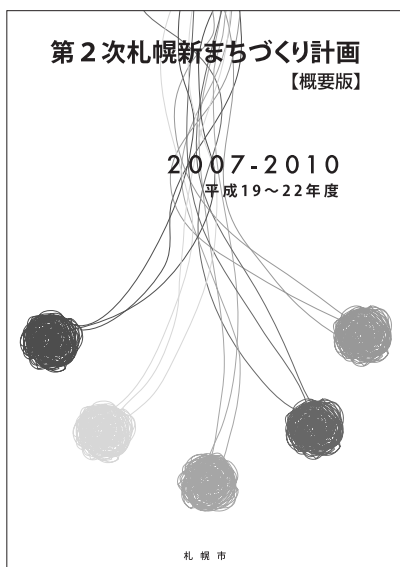
※第2次札幌新まちづくり計画（案）の構成に沿って分類

※個々の意見の概要とそれに対する市の考え方は第2次札幌新まちづくり計画書本書に掲載

分 類	件 数	構成比
第1章 計画の基本的考え方		
1-1 計画策定の趣旨、計画期間、計画の位置づけ	0件	0%
1-2 前計画（札幌新まちづくり計画）との関係	0件	0%
1-3 計画の特徴	3件	1%
1-4 計画の事業数と事業費	0件	0%
1-5 計画の推進にあたって	2件	1%
第2章 計画体系別事業一覧		
1 計画体系	0件	0%
2 計画事業	(162件)	(82%)
政策目標1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街	40件	20%
政策目標2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街	9件	5%
政策目標3 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街	30件	15%
政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街	39件	20%
政策目標5 文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街	44件	22%
3 各区の計画事業	0件	0%
4 公共施設における保全、長寿命化などの取り組み	0件	0%
第3章 主な施設、サービス水準		
その他の意見	31件	16%
合 計	198件	100%

表紙デザイン

札幌市立大学
デザイン学部コンテンツデザインコース2年
中井健太さんの作品です



全体的なデザインコンセプトは、今回の第2次札幌新まちづくり計画における政策目標の5つの項目をイメージし、まちづくりにおけるさまざまな人々の気持ちのつながりを表すために、オブジェクトは糸を連想させるものとした。また、それぞれの政策目標から感じられるイメージを5つの色で表し、それらの糸が絡み合い、新たな一つのものになるということを表している。その糸が上方に向かっているのは、常に上を目指し成長していくことを意味している。

第2次札幌新まちづくり計画（平成19～22年度）【概要版】

平成20年（2008年）1月発行

企画・編集：

札幌市市民まちづくり局企画部調整課

〒060-8611

札幌市中央区北1条西2丁目 電話 011-211-2206 FAX 011-218-5112

ホームページ：<http://www.city.sapporo.jp/chosei/new-plan/>

計画書本書は、札幌市役所本庁舎2階市政刊行物コーナーで販売しています。（A4判206ページ、350円）





2007-2010
SAPPORO